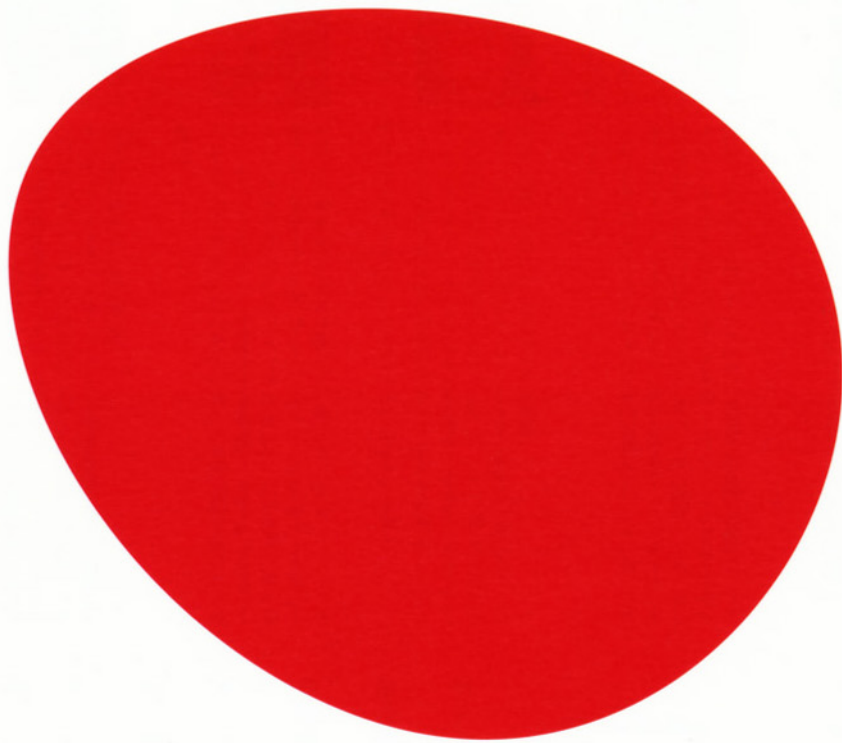


福



芽吹く街、日本橋

「室町 福徳塾2014講座」

第一回 4月13日(火) 林英哲×浅葉克己

「未来の日本へ橋を架ける」

第二回 4月20日(火) 紫舟×浅葉克己

「書家・紫舟講演」

第三回 5月11日(火) 榎本了彦

「スペシャリストからジェネラリストへ」

第四回 5月13日(木) 日比野克彦

「人の中の場・場の中の人」

第五回 5月19日(水) 吉村作治

「日本とエジプトの比較文化論」

第六回 5月25日(火) 浅葉克己×田宮健三

「金座発祥の地と製作貨幣」

※全講座共通 18時30分～20時(17時30分開場 自由席)

入場料 一講座 1000円(ワンドリンク付き)

公式HP <http://www.fukutokujuku.jp/>

日本橋

室
福
町

福徳塾

芽吹く街、日本橋「室町 福德塾2014講座」

室町 福德塾の名の由来である「福德神社」が2014年、都会の真ん中に再建されます。日本橋が、かつて日本の伝統と文化を育み、日本の発展に貢献したように、新たな知恵や才能が「芽吹く」街として再生することを期待し「芽吹く街、日本橋」室町 福德塾2014講座」を開講します。本講座では「未来に伝える日本の伝統、文化をテーマに」日本橋に息づく日本の伝統や文化を通して、未来（次代）への生き方のヒントとなるようなトークセッションを展開します。そして、私たちの2014年も「芽吹く」ことを願い、各回終了後、講師と参加者が共に「福德神社」にメッセージを残します。メッセージは浅葉克己氏デザインによるメッセージブックにまとめ、2014年新しい街とともに生まれ変わる「福德神社」に奉納されます。

「室町 福德塾」とは

日本橋のさらなる活性化を目指した取り組みの一環で、日本の文化と伝統を発信する大人のサロンとして、2006年12月にオープンしました。まさしく「平成の寺子屋」として、各界の文化人や日本橋界隈で永く伝統を築かれてきた老舗の方々などを講師としてお招きし、数多くのユニークな講演企画を展開してきました。

日本橋の文化情報発信拠点としての役割を担ってきた「室町 福德塾」も、神社と通りのある街づくりを推進する「室町東地区開発計画」の一環として、5月末にクローズします。

芽吹き神社の再生「福德神社」とは、

日本の起点、日本橋は、日本の文化、伝統、芸能、食文化など、あらゆるジャンルの新しいモノやコトが生まれた街です。この、物事が芽吹く地に、かつて芽吹き神社と称された「福德神社」が鎮座しています。その由来は、柵（くぬぎ）の皮付き鳥居に春の若芽が萌出したという逸話から、芽吹き神社とつけられたと云われています。千年以上にわたり、日本橋室町の地を見守り続けた「福德神社」が、その鎮守の地の再生計画により移設、境内をもつ社殿として2014年、都会の真ん中に再び、再建されます。



講師プロフィール

浅葉克己



アートディレクター
1940年神奈川県生まれ。桑沢デザイン研究所、ライオンプリシディアを経て、75年浅葉克己デザイン室を設立。サントリ、西武百貨店、ミサワホーム等数々の広告を手がける。日宣美特選、日本宣伝賞、東京ADC賞グランプリ、紫綬褒章など受賞多数。東京ADC委員、東京TDC理事長、AGI（国際グラフィック連盟）日本代表。

林英哲



太鼓奏者
11年間のグループ活動後、1982年よりソロ活動開始。1984年初の和太鼓独奏者としてカーネギー・ホールにデビュー。日本の伝統はない、和太鼓の創造者、和太鼓を日本そして世界に知らしめた第一人者。1997年芸術選奨文部大臣賞受賞、洗足学園音楽大学客員教授。

紫舟



書家
六歳から書始める。書の本場奈良で三年間研鑽を積み、のち東京へ。書によるハリウッド映画の題字を目指す。NHK「龍馬伝」をはじめ映画の題字やCMなどに作品を提供。朝日新聞や読売新聞で書の連載をもつ。海外でも「パリの」への作品展示など幅広く活動。書「龍馬伝」で手島右衛門賞を受賞。http://www.e-sisyu.com

榎本了志



クリエイティブディレクター・プロデューサー
1947年東京生まれ。武蔵野美術大学造形学部卒業。アタマ・インターナショナル代表。京都造形芸術大学教授・情報デザイン学部長。主な著書「榎本了志のアイデアノート・脳業手技」「東京モンスタースタンド」「75年「ビックリハウス」を創刊以降、デザイン、編集、出版、文化イベント等の仕事を展開。

日比野克彦



アーティスト
1958年岐阜市生まれ。80年代に領域横断的、時代を反映した作風で注目される。作品制作のほか、身体を媒体にした表現も用い自己の可能性を追求し続ける。近年は、受取り手の感受する力に焦点を当て、様々な地域で参加者と共同制作を行いながら社会で芸術が機能する仕組みを創出する実践的な活動を積極的に展開している。

吉村作治



考古学者
1943年東京生まれ。早稲田大学卒業。サイバー大学学長（工学博士）、早稲田大学客員教授。日本におけるエジプト考古学の第一人者。66年アジア初の早大エジプト調査隊を組織し、40年以上にわたり発掘調査を継続。国際的評価を得る。公式HP「吉村作治のエジプトニア」http://www.ejpt.co.jp

田宮健三



内外貨幣研究会会長
1939年東京生まれ。東京都立大学卒業後、63年に内外貨幣研究会を創立し、会長を務める。貨幣商を経て、現在田宮商会代表取締役社長。各地貨幣研究会顧問を歴任。主な著書「日本通貨図鑑」月刊「趣味情報」収集などに、江戸期金銀貨の研究を発表。名著「ひびき」小森善治著（貨幣写真集）の解説、編集を担当。

講座概要

講座タイトル 芽吹く街、日本橋「室町 福德塾2014講座」
場所 室町福德塾
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-13-16
三井6号館1F

講座時間 18時30分〜20時（17時30分開場 自由席）
※座席に限りがありますので、立見となる可能性があります。

入場料 一講座 1000円（ワンドリンク付き）

講座スケジュール

第一回 4月13日（火） 林英哲×浅葉克己
「未来の日本へ橋を架ける」

第二回 4月20日（火） 紫舟×浅葉克己
「書家・紫舟講演」

第三回 5月11日（火） 榎本了志
「スペシャリストからジェネラリストへ」

第四回 5月13日（木） 日比野克彦
「人の中の場、場の中の人」

第五回 5月19日（水） 吉村作治
「日本とエジプトの比較文化論」

第六回 5月25日（火） 田宮健三×浅葉克己
「金座発祥の地と製作貨幣」

お申し込み・お問合せ先

お申し込み トークイベントは、下記ホームページでお申し込みください。

<http://www.fukutokujuku.jp/>

※それぞれのトークイベントは、事前申し込み制となっております。
※応募者多数の場合、抽選となる場合がございます。
※厳正なる抽選の結果、当選者にはメールでお知らせいたします。
※イベントの日程・内容などは予期なく変更する場合がございますので予めご了承ください。

お問合せ先 月刊日本橋編集部 Tel.03-6202-1221

〈個人情報取扱いについて〉

講座のご応募にあたり、お客様から取得しました個人情報については、利用目的の範囲内で適切に利用させていただきます。三井不動産の個人情報の取り扱いについて、詳しくはこちらをご覧ください。

http://www.mitsui-fudosan.co.jp/privacy_policy/toriatsukai/index.html



会場に関するお問合せ
〒103-0022 東京都中央区
日本橋室町2-3-16
三井6号館1F
Tel.03-6202-0599
アクセス
地下鉄銀座線・半蔵門線
三越前駅
A4出口 徒歩2分